

今月の技術対策 (畜産編FAX情報)

留萌農業改良普及センター・留萌地区農協酪農畜産対策協議会

TEL : 0164-62-1779 FAX : 62-2474

E-mail: rumoi.nakanoukai1@pref.hokkaido.lg.jp

その他情報も
HPで公開中!

電気を
使わない

生産抑制時の技術対策⑤

～電気を使わなくても出来る暑熱対策 その②～

乳牛に暑熱ストレスがかかると呼吸数が増え、エサの摂取量が減ってきます。今回は暑い時期でも飼料給与を工夫し、エサをしっかりと食べこませる方法を紹介します。

暑熱対策1【消化の良いエサを給与】

エサは第一胃（ルーメン）で発酵するときに熱を出します。消化の良いエサほど発酵熱の発生が少なくなくなります。暑さでまいてくるこの時期には、消化の良いエサを与え、暑熱ストレスを軽減させましょう。

刈り遅れた粗飼料でも、ロールカッター等によって切断長を短くする事で消化性を改善することが出来ます。

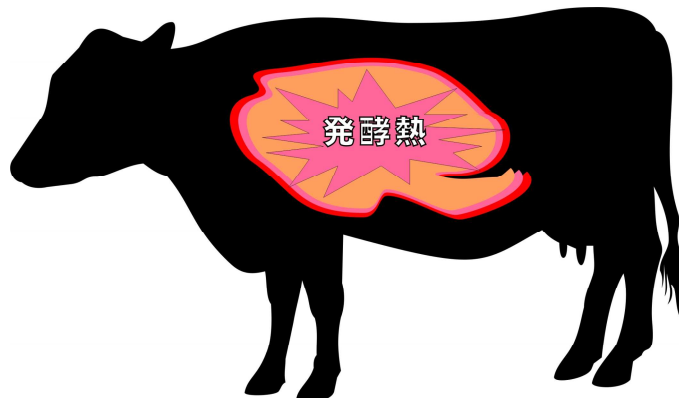


図1 第一胃（ルーメン）発酵熱

エサの消化性	良い	普通	劣る
エサの種類	ビートパルプペレット	細切サイレージ	ロールサイレージ・乾草

暑熱対策2【ミネラルを増給】

暑熱時期はミネラルの消費量が増えます。

→ 鉱塩を適時補充する。TMRでは塩を50～100g給与する。

ルーメンアシドーシスのリスクが高まりやすい時期です。

→ 重曹（100～200g）、酸化マグネシウム（50g）を給与する。

暑熱対策3【涼しい時間帯にエサを給与】

暑熱期には涼しい夕方時間帯に多くエサを与えましょう。